



大 日 本 帝 國 政 府

假稱

財團  
法人  
國家  
會力  
研究  
所設  
立ニ  
關ス  
ル件  
(案)

(一八三二九)



# 大日本帝國政府

目次

- 一、財團法人國家奮力研究所ノ構成
- 二、奇附行爲
- 三、事業計畫
- 四、歲入歲出豫算

# 大日本帝國政府

一、財團國家奮力研究所，構成  
法人

所長  
(又(理事長))  
大藏次官  
日銀副總裁  
湯本氏  
山崎覺次郎

常任理事 (二人) 荒木氏、湯本氏

理事

(若干人) 大藏次官、各省次官、大藏省各局長、全國金融統制會、岸氏、日銀調查局長等

評議員

(二〇人以上) 關係各省局長、日銀調查局長、研究員若干名

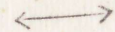
監事 (二人)

研究所參與 (若干名) 關係各省課長事務官等

研究事務局

(局長) 荒木氏

流  
士



所得部

(部長) 荒木氏

研究員  
助手  
計手

一〇〇人

(內研究主査  
二名)

資料部

(部長) 川氏

書記  
タイピスト  
給仕

三二一人

庶務課

給仕

一一人

(坪數) 一五〇坪

二〇名位

# 大日本帝國政府

三 財團國家資力研究所寄附行爲

## 第一章 名稱

第一條 本財團法人ハ財團法人國家資力研究所（假稱）ト稱ス

## 第二章 目的及事業

第二條 本財團法人ハ國家資力並ニ之ガ配分ニ關スル研究調査ヲ爲シ以テ國家資金動員計畫ノ確立ニ寄與スルコトヲ其ノ目的トス

第三條 本財團法人ハ前條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 國家資力推計並ニ配分ニ關スル研究

二 國家資力推計並ニ配分ニ關スル資料ノ蒐集及之ガ整備ニ關スル事項

三 其ノ他本財團法人ノ目的達成ノ爲ニ必要ナル事項

## 第三章 事務所

第四條 本財團法人ハ事務所ヲ〇〇ニ置ク

## 第四章 資産及會計

## 大日本帝國政府

第五條 本財團法人ノ資産ハ左ニ記載シタルモノヨリ成ル

一 別紙財産目錄ニ掲グル設立當初ノ財産

二 有志ノ寄附金

第六條 本財團法人ノ資産ハ評議員會ノ決議シタル方法ニ依リ理事長之ヲ管理ス

第七條 基本財産ハ評議員四分ノ三以上ノ同意ヲ得且主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分スルコトヲ得ズ

第八條 本財團法人ノ經費ハ寄附金及基本財産ノ果實ヲ以テ之ヲ支辨ス

第九條 本財團法人ノ豫算ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 本財團法人ノ決算ハ評議員會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス剩餘金及不足金ノ處分方法ハ評議員會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 本財團法人ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

# 大日本帝國政府

第五章 役員、職員及研究所參與

第十二條 本財團法人ニ左ノ役員ヲ置ク

理事 若干人（内一人ヲ所長又ハ理事長トシ、一人ヲ常任理

事トス）

評議員 十人（内若干人ヲ研究員トス）

監事 一人

第十三條 所長又ハ理事長及常任理事ハ理事會ニ於テ理事中ヨリ之ヲ

互選ス

第十四條 評議員及監事ハ所長又ハ理事長之ヲ委嘱ス

第十五條 所長又ハ理事長ハ本財團法人ヲ代表シ其ノ業務ヲ統轄ス

常任理事ハ所長又ハ理事長ヲ輔佐シ本財團法人ノ常務ヲ掌理ス

監事ハ本財團法人ノ常務ヲ監査ス

第十六條 理事、評議員又ハ監事ニ缺員ヲ生ジタルトキハ所長又ハ理

事長後任者ヲ委嘱ス

# 大日本帝國政府

第十七條 本財團法人ニ左ノ職員ヲ置キ所長又ハ理事長之ヲ任命又ハ委囑  
屬ス

一 研究員 若干人

一 助手 若干人

一 書記 若干人

第十八條 研究員ハ調査研究ニ從事ス

助手ハ研究員ノ調査研究ヲ輔佐ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務及會計ニ從事ス

第十九條 國家會力ノ推計況ニ配分ニ關スル調査研究況ニ研究員ノ指導  
ノ爲研究主査若干人ヲ置ク

研究主査ハ評議員又ハ研究員中ヨリ所長又ハ理事長之ヲ委囑ス

第二十條 本財團法人ニ研究所參與若干人ヲ置クコトヲ得

研究所參與ハ理事會ノ議ヲ經テ所長又ハ理事長之ヲ委囑ス

第六章 役員會

## 大日本帝國政府

第二十一條 評議員ハ評議員會ヲ組織シ左ノ事項ヲ審議ス

一 事業遂行ノ方針ニ關スル重要事項

二 資産ノ管理及處分ニ關スル重要事項

三 豫算及決算ノ承認及ニ剩餘金及不足金ノ處分

四 寄附行為ノ變更及本財團法人ノ解散

五 其ノ他理事會ニ於テ必要ト認メ附議シタル事項

第二十二條 評議員會ハ所長又ハ理事長之ヲ招集シ其ノ議長ハ開會毎ニ

出席員中ヨリ之ヲ互選ス

第二十三條 評議員會ニ出席スルコト能ハザル評議員ハ書面ヲ以テ表決

ヲ爲シ又ハ他ノ評議員ヲ以テ代理人ト爲スコトヲ得

第二十四條 評議員會ノ議事ハ出席ノ理事或ニ前條ノ書面表決及代理人ノ數ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依

ル

第二十五條 理事ハ理事會ヲ組織シ業務ノ執行、資産ノ管理及處分、會



# 大日本帝國政府

計其ノ他本財團法人ニ關スル一切ノ重要ナル事項ヲ協議ス  
會議ニ關スル細目ハ理事會之ヲ定ム

第七章 寄附行為ノ變更

第二十六條 本寄附行為ハ評議員四分ノ三以上ノ同意ニ依リ主務官廳ノ  
認可ヲ經テ之ヲ變更スルコトヲ得

附 則

第二十七條 本財團法人設立當初ノ役員左ノ如シ

## 大日本帝國政府

### 三、財團法人國家奮力研究所事業計畫書

本財團法人ニ於テ行フベキ事業概要左ノ如シ

一、國家奮力ノ本體況ニ構成及之ガ配分<sup>分</sup>ニ關スル理論的研究ヲ爲スコト

二、國家奮力況ニ之ガ配分ノ推計方法ニ關スル研究ヲ爲スコト

三、前二號ニ關シ必要ナル資料ノ整備況ニ調査ニ關スル事項

四、國家奮力推計ノ基礎タル生産額等ノ統計方法ニ關スル研究

五、國家奮力ノ推計況ニ之ガ配分ニ關シ、財政金融ニ關スル關係各省ノ

官吏（研究所參與）學者況ニ全國金融統制會具ノ他金融團體ノ實務

ニ練達セル經驗者ノ會議ヲ隨時開催シ、關係各廳況ニ學者況ニ財界

ノ總習ヲ集メ之等ト緊密ナル連絡ヲ圖リ之ガ調査研究ヲ促進スルコ

ト

六、國家奮力況ニ之ガ配分ニ關スル調査研究ノ成果ヲ印刷物（パンフレ

ット）トシ關係各廳ニ配布スルコト

七、以上ノ外本財團法人ノ目的ヲ達スルニ適當ト認ムル事業ヲ爲スコト

# 大日本帝國政府

(1) 四 歲入歲出豫算 (案)  
 歲入豫算

科目	數量	單價	金額	摘要
基本財產、果實 寄附金			圓 一七三、七六八	計

# 大 日 本 帝 國 政 府

										(口) 歲 出 豫 算	
計 算 手	書 記	助 手	研 究 員	研 究 所 參 與	評 議 員	監 事	理 事	常 任 理 事	所 長 又 八 理 事	經 常 費 人 件 費	費 目
一	三	一	一	一	一	一	三	一	一	一	數 量
八	一	一	四	四	四	五		五			單 價
五	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇			價 金
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇			額
八	五	一	四	六	四	五		二		一	摘 要
五	〇	七	〇	〇	〇	〇		五		一	賞年與 (五ヶ月)
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		一	賞年與 (五ヶ月)
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		五	賞年與 (五ヶ月)
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		八	謝 禮 又 八 報 酬
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		五	謝 勵
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		〇	一 人
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		〇	三 〇 〇 〇 〇 〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		〇	二 六 五 〇 〇 〇 〇 〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇		〇		〇	圓 圓 圓 圓 圓 圓 圓 圓 圓 圓

# 大日本帝國政府

電話料	筆紙墨文具	印刷物費	印刷 外註 モニア	雜誌	新聞	圖書	物品費等	小使	給仕	タイピスト
		三〇〇〇		五〇種	一五種	六〇冊		一	二	
		一部		"	一種	一冊				
		三〇〇〇		一〇〇〇	一〇〇〇	五〇圓			五一〇	一四四五
五〇〇	三四五	六〇〇〇	二六〇	六〇〇	二一六	三〇〇〇	四五八六九	一三六〇	一〇二〇	四三三五
○五 通話 ×一 五通話 ×一 〇日 日一 事一	五 人紙 ×原 二稿 〇人 〇日 一 錢	×× 三 〇 分 ×日 一 〇 錢	×× 三 年 〇 分 ×日 一 〇 錢	一 〇 枚 〇 日 〇 枚 用 一 部 五 枚	一 〇 枚 〇 日 〇 枚 用 一 部 五 枚	一 〇 枚 〇 日 〇 枚 用 一 部 五 枚	賞 與 五 ヶ 月 年	賞 與 五 ヶ 月 年	賞 與 五 ヶ 月 年	賞 與 五 ヶ 月 年
								四九〇	一三五〇	一四〇二
								〇六〇〇	〇〇〇〇	〇五〇〇
								圓	圓	圓

# 大日本帝國政府

兩袖机	片袖机	事務室用	修設	薪炭	電燈瓦	會家議	家議	ヲ(出張旅費)	一(出張旅費)	被服費	交通費	郵便費
-----	-----	------	----	----	-----	-----	----	---------	---------	-----	-----	-----

一五  
二五

七四  
〇〇

研究員一〇人 役員五人	助手一〇人 事務員三人 給仕二人 タイ	一四二九四	一五〇八四 二四	三〇八	二八八〇	一八〇〇〇	一三〇〇〇	一〇〇	四〇〇	二一六	〇〇日	市內出張一回一月×二人×二	〇〇日	郵便切手五錢會議月四回×三 月其、他運搬費右
				×(三)燈外瓦斯木炭等年二〇〇圓	月四回×三〇人×二圓×二月	一五〇坪月一〇圓×一月	查料如キモ、〇〇圓(例家計調)	×(日常旅費)一日〇圓×五日	×(小使)一着×二〇圓(一)タイ(三)着					

# 大日本帝國政府

六尺卓子  
圓卓子  
椅子(大)  
椅子(小)  
製圖用具  
電話器  
タイプライター  
計算器  
算盤  
書棚  
金庫  
膳寫版  
帽子掛

五  
八  
五  
二  
五  
二  
三  
一  
〇  
〇  
二  
一  
七  
一  
五  
二

和洋

一、〇〇〇  
四、〇〇〇  
三、〇〇〇  
五、〇〇〇  
一、〇〇〇  
一、〇〇〇  
二、〇〇〇  
一、〇〇〇  
二、〇〇〇  
一、〇〇〇  
二、〇〇〇  
三、〇〇〇  
二、〇〇〇  
一、〇〇〇  
三、〇〇〇  
一、〇〇〇

二、五〇〇  
五〇〇  
一、二五〇  
八七〇  
一、〇〇〇  
二、〇〇〇  
一、二二〇  
五、〇〇〇  
一、四〇〇  
一、五〇〇  
一、七五〇  
三〇〇  
一、五〇〇

役員用

役員用

片袖及兩袖机用三五圓卓子用  
八六尺卓子用一五

製圖用具一式

和文、洋文、





大日本帝國政府

業別分類	(一) 鑛業	(二) 工業	金屬工業	機械器	———
昭和十五年	實績				
昭和十六年	實績又ハ見込				
昭和十七年	配當見込				
昭和十八年	配當見込				
備					
考					

電力配當量表

註昭和十四年度チ一〇〇トスル指數

(單位千瓩・時)